

一般社団法人慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会

令和2年5月 web 理事会議事録

日時：令和2年5月27日(火) 18時開始

出席理事：松本理事長（52回）吉野（44回）市来崙（48回）河瀬（49回）
島津（53回）窪地（58回）菅（61回）澤藤（67回）下島（76回）半田（80回）和田（84回）竹内（91回）水野（94回）

学内教授理事：黒田（61回）浅村（62回）北川（65回）志水（65回）

欠席：小澤（60回）石井（70回）川久保（73回）

監事：熊井（46回）、尾原（72回）

同窓会幹事：岡林（78回）木村（79回）朝倉（81回）山田（81回）

堤健太郎弁護士、岡田泰税理士

事務局本間

上記のとおりのおり出席があったので、松本理事長は議長席に着き、開会を宣し、議事に入った。

<報告事項>

1. 同窓会年間報告

松本理事長より令和元年同窓会年間報告があった

2. 教室年間報告

北川教室主任より教室人事異動等報告があった

第120回日本外科学会はweb開催となることが報告された。（3日間リアルタイムでライブ配信し、二か月間にわたり、アーカイブする）

教室100周年祝賀会も12月に延期されたが、コロナ感染状況等判断しての開催

となると報告された。

3. 委員会報告（刀林賞選考委員会・広報委員会・国際委員会・将来構想委員会）

広報委員会報告として、『刀林』115号掲載予定記事案が報告された

国際委員会・・・特になし

将来構想委員会・・・活動なし

4・外科学教室新人紹介 専修医担当（岡林）資料にて確認

<審議事項>

第1号議案 令和元年決算承認の件 財務委員（澤藤）

令和元年決算について澤藤財務担当理事より資料1に基づき説明があった。

吉野理事:本年度の赤字146万あるが、総会補助費150万、運営管理費150万ほどかかっている。この運営管理費は、このくらいの規模の団体として、また、他診療科の同窓会と比べて妥当な金額なのか知りたい。

松本理事長:慶應医学部同窓会で法人登録しているのは、外科だけである。三四会も任意団体であるので比較の対象がない。

岡田税理士:本年は一般社団法人になることにより設立の費用も入ってきているが、運営管理費は弁護士、税理士費用などの顧問および委託契約のことなので自分としては何とも言えない。会計報告については、法人として完璧なものとしていくには詳細が必要だが、同窓会の組織としては問題はない。

吉野理事:総会補助費は出席した人だけが利益を被るものなので、会場費を安いところにするなど検討の余地があるのではないか。

松本理事長:令和2年総会は中止とするので会場費の出費はない。

熊井監事、尾原監事より会計監査の結果、適切に処理されている旨報告された。

決算承認

第2号議案 令和2年度事業計画案承認の件

承認

第3号議案 令和2年度予算案承認の件

財務委員（澤藤）

予算案が報告された

吉野理事：前年度は法人化というプロセスがあったが、本年はない。費用等請求が同じ額なら理由を聞いてほしい。これから毎年の金額となるのか、慎重に対応してほしい。

松本理事長：ご意見を受け止めて検討する。

第4号議案 学会支援募金活動承認の件

第74回日本胸部外科学会会長の志水秀行君（65回）より学会について説明があった。

河瀬理事：大きな学会の主催おめでとうございます。コロナ等で開催ができなく、web開催になったら募金はどうなるか、それまでに集めた資金はどうなるのか。

志水理事：来年の秋の学会なので、どうなるかわからないが、web学会、ハイブリッド学会となった時の予算は現時点ではたてていない。余剰金がでたら適正に対応するように考える。前例がないことでもあり、具体的には未定である。ワックスマン財団での募金活動ができなくなり、特定非営利活動法人領域横断的治療支援センターで口座も作成し募金先とすることになった。

北川理事：特定非営利活動法人領域横断的治療支援センターは、外科手術に関連して幅広い人材育成を目的とし、若手トレーニングのために企業より寄付をつのって活動しているNPO法人である。教室100周年への寄付もこちらを寄付

先としている。

仮に学会で大きな黒字が出た場合、学会に寄付しなければならないが、募金趣意書に、心臓血管外科の研究活動、若手人材育成に使用させていただく旨記載しておけば、適正に透明性をもって有効に活用することが可能なのではないか。

堤弁護士：2月にこの話がでて、定款上問題がないか検討をしたが事業目的の範囲に属し問題はない。

黒田理事：日本小児外科学会でも寄付先としてお願いしたい。

吉野理事：募金趣意書の表紙に3名連名となっているが文章の内容的に志水理事単名がよい

河瀬理事：web開催となり余剰金が出たら、どのように使用するかと一言書いておくのでよいのではないか

志水理事：適切に対応したい

松本理事長：河瀬理事のご意見はグレーゾーンなので、堤弁護士と検討した後に意見を志水理事に伝える。

吉野理事：募金趣意書を刀林会会員に出す時に理事が発信人となるので、事前に目を通させてほしい。

第5号議案 刀林賞の件

刀林賞選考委員長（島津）

島津理事（刀林賞選考委員長）：メールでの審議となった。12名の選考委員全員の厳正なる審査の結果

刀林賞：四倉正也（89回）、刀林奨励賞：市村真也（81回）、中野容（90回）となったと説明があった。

承認

第6号議案 ウェブ会議システム導入の件

理事長

今後のweb会議のため、webシステム契約を検討しciscow webexの月額2980円のプランを導入したい

社員総会も本年はwebでの開催とし、日程は総会が6月20日(土)だったので前日の6月19日(金)はどうか。時間は18時開始とする。

報告事項：新人紹介として、

岡林専修医担当主任：外科学教室に18名の新人が入室、全員刀林会に入会することになる。また、さいたま市立病院勤務の入江理絵君が入会した。

本年は、挨拶は社員総会に顔写真入りの資料を用意しておくことになった。

その他

吉野理事：定款上は理事会は理事と監事のみが出席可能である。弁護士、税理士、秘書が参加するには理事の許可がいる

松本理事長：今後、そのように対応する

吉野理事：追悼記に中川自夫先生を加えるべきである。編集委員会ご遺族に確認したのち議論する。

以上

以上をもって本日の議案をすべて終了したので、議長は、閉会を宣した。

上記議事の経過の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事及び出席監事が以下に記名押印する。

令和2年6月19日